

憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム

# 自衛隊の実態から探る 自衛隊加憲論の問題点

2018年3月、自由民主党は、憲法9条1項2項を残しつつ「自衛隊」を書き加えるという憲法改正の条文イメージ（たたき台素案）を発表しました。これについて、従来の解釈は変更せず「自衛隊」を書き加えるだけの説明がなされていますが、本当にそうでしょうか。

自衛隊の文民統制の研究を積み重ねてこられた瀬瀬厚（こうけつあつし）氏を講師にお招きして、自衛隊の実態について歴史的に説き起こしていただき、憲法に「自衛隊」を書き加えることにどのような問題があるのか、市民のみなさんとともに考えたいと思います。

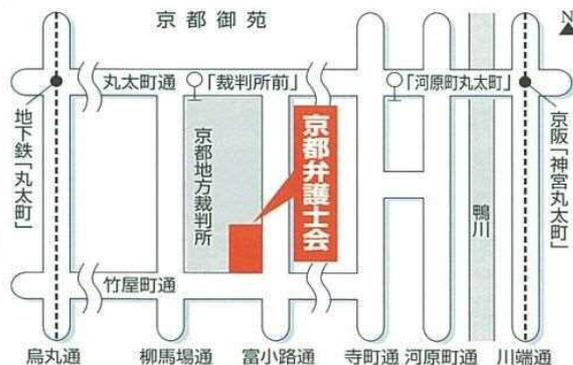
2019年7月27日（土）

開演：午後2時～4時

（開場：午後1時30分）

参加費無料／申込不要  
先着150名

場所：京都弁護士会 地階大ホール



主催：京都弁護士会

共催：日本弁護士連合会（予定）



こうけつ あつし  
講師：瀬瀬 厚 氏

1951年岐阜県生れ。  
一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。現在、明治大学特任教授（研究知財戦略機構）。前山口大学理事兼副学長、山口大学名誉教授、政治学博士。近現代日本政治史・現代政治社会論、対アジア関係史専攻。  
<本講演に関連する著作>  
『文民統制 自衛隊はどこへ行くのか』（岩波書店、2005年）  
『集团的自衛権容認の深層』（日本評論社、2014年）  
『暴走する自衛隊』（筑摩書房・新書、2016年）  
『逆走する安倍政治』（日本評論社、2016年）  
『自衛隊加憲とは何か』（日本機関紙出版センター、2019年）など多数

